



報道発表資料の配付日時 5月18日(木)15時00分

発表項目 (行事名)	未来づくり感響プロジェクトにおける 旭川志峯高等学校2年生への「森と家具の繋がり」普及に向けた授業の実施について												
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時) 月 日 () 時 分～	発表者											
		発表場所											
概要	<p>上川総合振興局では平成30年から明和地所株式会社からの企業版ふるさと納税を財源として、旭川地域の林業・家具産業の振興や担い手確保に向けた興味喚起を図るため「未来づくり感響プロジェクト～森と家具の繋がり普及事業～」を実施しております。</p> <p>令和5年度は、旭川志峯高等学校(旧旭川大学高等学校)の未来創成コースの2年生を対象に、持続可能な施業が行われている森林や製材工場で丸太が家具材に加工される工程の見学、旭川デザインセンターにて旭川家具の成り立ち等を学び、生徒それぞれが木工クラフトの製作を行います。</p> <p>授業の講師は、旭川地域で活躍されている林業者や家具生産者、製材工場経営者がそれぞれの得意分野を担当し、これらの産業の魅力や森林と暮らしとの繋がりについて伝えてまいります。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 対象 旭川志峯高校 未来創成コース2年生</p> <p>2 実施概要(予定)</p> <table border="0"> <tr> <td>① 突哨山(旭川市)里山部山林の見学</td> <td>5月23日(火)</td> </tr> <tr> <td>② 昭和木材株式会社 製材工場見学</td> <td>5月30日(火)</td> </tr> <tr> <td>③ 旭川デザインセンター見学</td> <td>6月27日(火)</td> </tr> <tr> <td>④ 旭川志峯高校 木工製作</td> <td>7月18日(火)、8月22日(火)、 8月29日(火)</td> </tr> <tr> <td>⑤ 旭川志峯高校 取りまとめ・発表</td> <td>9月12日(火)、9月19日(火)</td> </tr> </table> <p>詳しいスケジュールは別添のとおりとなります。</p>			① 突哨山(旭川市)里山部山林の見学	5月23日(火)	② 昭和木材株式会社 製材工場見学	5月30日(火)	③ 旭川デザインセンター見学	6月27日(火)	④ 旭川志峯高校 木工製作	7月18日(火)、8月22日(火)、 8月29日(火)	⑤ 旭川志峯高校 取りまとめ・発表	9月12日(火)、9月19日(火)
① 突哨山(旭川市)里山部山林の見学	5月23日(火)												
② 昭和木材株式会社 製材工場見学	5月30日(火)												
③ 旭川デザインセンター見学	6月27日(火)												
④ 旭川志峯高校 木工製作	7月18日(火)、8月22日(火)、 8月29日(火)												
⑤ 旭川志峯高校 取りまとめ・発表	9月12日(火)、9月19日(火)												
参 考	授業では、現地移動を伴います。取材を希望される場合は、日程や集合場所等の詳細をお知らせしますので事前の連絡をお願いいたします。												
報道(取材)に当たってのお願い	広く様々な方に知っていただきたく、積極的な報道をお願いします。												
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)											
	同時レク												
担当(連絡先)	上川総合振興局産業振興部林務課長 橋本 文彦 直通 0166-46-5133												

未来づくり 感響プロジェクトとは

感響プロジェクトは、高校生を対象に「旭川家具の魅力」や「家具・建具製造業や林業の職業としての素晴らしさ」を学ぶ「木育」の新たなプログラムです。

日本有数の木製家具産地の一つである旭川地域が持っている、自然、産業、歴史、文化を若い世代に伝えるとともに、現在直面している課題を木に携わる仕事で活躍しているエキスパート達とともに考えていこうという思いのもと、本物のモノの価値を知ることができる学習ツールを作りました。



再生マツコート紙を使用しています。
(古紙配合率80%以上)



森林の適切な管理に貢献しています。

このパンフレットは、「地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）」を活用して作成しています。

寄附企業 **MEIWA 明和地所**

これまでの取組



上川総合振興局
webサイト



明和地所(株)
webサイト

未来づくり感響プロジェクト

検索

木材標本の利用やプログラムの実施など
お問い合わせはこちらまでお気軽にどうぞ

北海道上川総合振興局
産業振興部林務課 木育推進

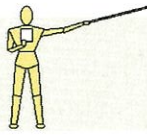
〒079-8416 北海道旭川市永山6条19丁目1
電話 0166-46-5999

木のまち旭川 「未来づくり感響 プロジェクト」

TO ASAHIKAWA FURNITURE FROM FOREST



森と旭川家具の繋がり



学習ツール

1. 学習プログラム

3年間のプロジェクトで2つのプログラムを作成しました。

◆プログラムの進め方と内容

- 旭川エリアの家具産業を下流（家具製品）から上流（森林）へ遡る
- 林業、製材工場、家具工場などの現場を見学し、デザイン、営業、販売、企画などの家具づくりに関する仕事やその内容の紹介

木製品 → ショップ → 工場 → 森



プログラム1の内容

1 木製品との出会いと森の入り口（木工体験）

- 簡単な木工体験を通して、木の触り心地、香り、表情を感じる
- 木や森が身近な存在になる第一歩としてのネームプレートづくり（旭川家具でよく使われる木材4種、ナラ・タモ・カバ・エゾマツ等を使う）

2 木材から製品に至るものづくりの中での価値づくり（旭川デザインセンター見学）

- 家具に使う木材の産地・種類・特徴
- デザインに対する考え方（木材の価値を高めるデザイン）
- 作り手の思いをどのように製品に込めるか
- 製品と消費者をどのようにつなげるか

3 ものづくりの現場としての家具工場（旭川地域の家具工場見学）

- 手作業と機械が融合した家具工場（機械の作業と手作業の違い）
- 手作業の優位性とは？大量生産・大量消費型家具づくりとの違い

4 木がもつ多様な可能性を育むこれからの森林づくり（木材標本等を活用した座学）

- 北海道、上川管内（旭川周辺）の森と木
- 「家具の資源」から「地域の資源」への森林づくりにおける考え方の転換
- 森と繋がった家具づくりに向けて。木だからこそできる家具の価値づくり

◆プログラムの進め方と内容

- 主に高校生を対象に、上流（森づくり）から下流（家具販売）までの「つながり」を学ぶ
- 目標「旭川デザインセンターで売るための家具」を考えるものづくり過程の3つの視点から学び・考え、旭川デザインセンターでどんなコンセプトや考え方を持った家具を売るべきかを考える
 - 資源、材料の出所の森づくり「森チーム」
 - 木から製品を製造する工場「工場チーム」
 - 家具を消費者に売る販売「販売チーム」



販売



工場



森



ディスカッション

プログラム2の内容

1 旭川デザインセンターへ

- オリエンテーション
- 旭川デザインセンター見学
- チーム分け

2 森 (Forest) チーム（学校や森などで行う）

- 動植物や樹木の役割、林業、生物多様性等について解説
- 実際に現地（山）に行き、木の種類・特徴や森林保全について解説

3 工場 (Factory) チーム（学校や家具工場などで行う）

- 実際に工場等に行き、ものづくりに触れながら旭川の家具材や材料の特徴等について解説
- 木材の特徴や実際に家具ができるまで等について解説

4 販売 (Sales) チーム（旭川デザインセンターなどで行う）

- 旭川家具の産業、木製品の实情、取り組み、流通の仕組みについて解説
- 旭川デザインセンターに行き、展示家具を見ながらメーカーや家具職人について解説

3チーム合同で（学校で行う）

- それぞれのチームで考えた「旭川デザインセンターで売るための家具」の発表
- ディスカッション
- 総評



2. 教材（木材標本）

樹種はミズナラ、ダケカンバ、エゾマツの3種類



・ミズナラ

旭川家具ではよく使われてきた樹種。虎の模様のような虎斑（トラフ）が根目の板にでるのが特徴。



・ダケカンバ

緻密だが加工性が良く、錦糸光沢があるのが特徴。



・エゾマツ

木目がはっきりしていて白くて軽い。独特な香りもある。

3. 学習テキスト



R5未来づくり感響プロジェクト 生徒への授業 スケジュール

5/15現在の予定で、今後、学校行事の関係で変更の可能性があります。

No.	日時		区分	会場	コマ数	バスの 使用	内容	学習のめあて
1	5月9日	13:20～15:10	座学	教室	1		講師の紹介、概要の説明	講師の紹介や、去年の授業内容、これから行う授業で学習してもらいたいポイントの説明
2	5月23日	13:20～15:10	現地 見学	清水氏 所有 里山部 山林	2	バス	突哨山の里山部山林の見学	身近な森林をあるき、森林の成り立ちや樹木の種類、特徴、暮らしの中での使われ方、製作物の材料となる樹種について実際に見て触れ森林との繋がりがやこれから扱う材料について知る
3	5月30日	13:20～15:10	現地 見学	工場	2	バス	昭和木材(株)工場見学	製材工場や加工工場にて、広葉樹丸太がどのように板に加工されるかや家具などに向けての加工様子を知る
4	6月27日	13:20～15:10	現地 見学	デザイン センター	2	バス	旭川デザインセンターの見学	旭川家具の成り立ちやこれまで見てきた樹木や木材が最終的にどのような姿となって、どのように売り出しているかを知る。
5	7月18日	13:20～14:10	座学	教室	1		木工製作の説明	「デザイン」の考え方や樹種の特徴に応じた「木材の活用」について学習し、これから製作するカッティングボードのイメージ図を作成
6	8月22日	13:20～15:10	実習	実習室	2		木工製作	カツラ、シラカバ等の板材から手鋸、ジグソー、スライド丸鋸を使用し、カッティングボードを作成。
7	8月29日	13:20～15:10	実習	実習室	2		〃	デザイン→木取り→カット→やすり→オイル塗装→焼きペン装飾
8	9月12日	13:20～14:10	座学	教室	1		グループワーク	これまでのレポート取りまとめ、学習を振り返り、グループ発表の内容を作成
9	9月19日	13:20～14:10	座学	実習室	1		各グループの発表	それぞれの班でメンバーが学んだことや授業の感想について発表
	計							